

飯綱町小学校統合だより

飯綱町

No.7

平成29年

3月1日

教育委員会

平成28年度も残すところ1か月となりました。統合小学校の開校まであと1年ということになります。三水地区、牟礼地区のそれぞれの学校では同学年の子どもたちの交流活動が活発に行われています。統合によって新しくスタートする二つの小学校の校名は「三水小学校」、「牟礼小学校」と決まりました。統合に向けて準備が進んでいます。

専門家との連携

校章と校歌については、現在検討が進められているところです。

校章のデザインと校歌作詞作曲については、専門家による助言が必要となりますので準備委員会としてもそれぞれの専門的なご助言をいただくために次の方々を校章、校歌の検討のために招聘いたしました。

校章選定外部専門家

小林勝彦 氏

(野村上在住)

長野美術専門学校校長



校歌作曲依頼者

吉本隆行 氏

(長野市西三才在住)

信州大学教育学部名誉教授



閉校記念行事

後1年と少しで、4つの小学校が閉校になります。学校の締めくくりをどのようにしていくかについて、検討されています。それぞれの学校ではPTA、地域住民、学校職員等からなる実行委員会が設けられて定期的に閉校に向けて検討の会議が行われています。

まだ、流動的なところもありますが、各校では、閉校に関わる式典が計画されています。およそ下記の期日で検討されているところです。町や学校に関わる行事が未定のところもありますので、場合によっては変更があるかもしれません。

各学校閉校記念式典日(予定)

※諸事情により変更の可能性もあります

- 三水第一小学校 平成29年11月23日(木)
- 三水第二小学校 平成29年11月 4日(土)
- 牟礼東小学校 平成29年10月28日(土)
- 牟礼西小学校 平成29年11月18日(土)

時間と内容の詳細は後日各学校より連絡があります



児童館（牟礼東・福井団地・牟礼西児童クラブ）



学校でもなく、家庭とも違う子どもが拠り所とする児童館です。

意識的、無意識的にも、普段の学校の姿、家庭の姿とは違う自分を出せるところでもあります。

社会にいずれ出て行く子どもたちが、小学生の時代に関わりの幅を広げている環境でもあると思います。学校、児童館、家庭相互に連携し合って子どもたちの健全な育成を願っていききたいと思います。



農業体験を兼ねて子どもたちが大豆を作っている学級が見られました。この時期はその大豆を使って、きなこ、豆腐、納豆づくり等に挑戦しています。大豆は小学生が学級園で比較的育てやすい作物です。暑い中の草取りは大変でした。

豆腐や納豆も伝統的な料理として、飯綱町でも昔から手作りされている食材です。特に大豆製品は健康食品としても注目されています。

豆腐づくりは、温度管理の難しさや「おから」と「豆乳」の温度が高いという難しい工程があるので小学校低学年には、レベルが高い教材です。

しかし、地域の専門家の皆さんが授業に入って指導を受けることができます。伝統的な料理を安心して体験できます。そのような教育環境が飯綱町にあることは、子どもたちにとって大変幸せなことです。

普段なにげなく食しているとうふやおからを自分で作ることができることを知り、この経験が将来の自立に向け役立っていくことを願いたいと思います。



三水第二小二年(1月27日)豆腐を作りました。道具もたくさん使います。準備片づけも進んでやりました。



三水第一小二年(2月6日)
豆腐と納豆を作りました。どちらも自分たちで育てた大豆を使いました。味は格別でしょう。